

笠岡市議会議員

まなべ陽子のかぶとがに通信

市議会だより 3号 (2021年10月発行)

- P.1 パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度について
- P.2-3 個人質問について
- P.4 政務活動紹介 他



【笠岡市では、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の準備を進めています】

2020年9月議会においてパートナーシップ宣誓制度の導入について個人質問で取り上げさせていただいた際、

「市民の皆様にも性的マイノリティーについて正しく理解していただくための教育や啓発を充実するとともに、パートナーシップ宣誓制度の導入を検討したい」

とご答弁いただいていた件について、2021年9月議会個人質問の中でこれまでの経過等お尋ねしました。

その答弁において、笠岡市はパートナーシップ宣誓制度に加え、ファミリーシップ宣誓制度も導入する方向で準備をしていることを明らかにしました。

パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度は、継続的に協力しあう「パートナーシップ関係」であることを表明した2者が市に届け出をした際、市がその届け出を受理したことを公に証明すると共に、2者の他に家族として暮らしている未成年の子どもを含む家族の関係を届け出た場合に、あわせて証明をするものです。

パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度の導入を行っているのは現在、全国で6自治体。中国地方としては初の導入です。

法的な効力はないですが、この制度を導入している自治体ではパートナーシップ・ファミリーシップ関係にあると証明された場合、公営住宅での同居ができたり、病院で病状説明を受けることができたり、保育園・幼稚園・こども園などへ家族として送り迎えができたりしています。

私は「**選択的夫婦別姓が制度化されていない日本社会において、不便な生活を強いられている異性同士『事実婚』をされているカップルやその子どもにも、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を適用して欲しい。**」と再質問。今後の検討課題にいただきました。

国の制度ではなかなかできなくても、地方自治体でならできると、そしてそれが本当に必要なことであれば、どんどんやっていただきたい。子どもを産みたい、育てたいと願う方々が少しでも望む形で子どもを育てることができる社会になるために、笠岡市としてできることは、なんでも取り組んでいただきたいです。

性的マイノリティーの当事者や家族の悩みに対応する福山市の「にじいろ電話相談」について

笠岡市民も対象となりました。

毎月第3水曜日に開設（無料）

必要に応じて笠岡市人権推進課に

繋いでくださいます。詳細はホームページにて。



2020年6月議会、2020年9月議会で個人質問をした笠岡市特別職報酬等審議会が開かれています。

その第3回会議においては、市議会議長・副議長・議員の報酬についても諮問が行われます。詳細はブログにてご確認ください。

QRコードで検索できない場合

「特別職報酬等審議会について まなべ陽子」

で検索いただくと幸いです。



議員報酬増額分の一部をたらちね海洋調査に寄付をいたしました。海を守り、これからの子どもたちの未来を守るために科学的なデータをしっかりと蓄積していただきたいと考えています。詳細はブログにてご確認ください。

QRコードで検索できない場合

「たらちね まなべ陽子」

で検索いただくと幸いです。



6月議会

【2021年6月議会個人質問 冒頭より】

日本経済は一部の業種でやや回復傾向が見られるとはいえ、全体がコロナ前の水準に戻るには時間が必要だと言われているなか、独り親世帯、非正規雇用の方々など、社会的に弱い立場の方々がコロナによってさらに弱い立場となり、経済的にも苦しまれています。

晩婚化が進む日本社会の中で、育児の負担が女性に多くかかる状況などに加え、新型コロナウイルスの感染拡大がさらに追い打ちをかけている状況のなか、2020年出生数は約84万人と過去最少を更新。昨年の妊娠届けも過去最少を更新。21年度は少子化がさらに深刻となり、修正数は70万人突破が濃厚との見通しもあります。

笠岡市におきましても、2020年国勢調査速報値人口減少数が4,434人と岡山県内最大、2020年度笠岡市人口動態によると出生数は210人、5年前より76人減少しています。さらに、2021年6月10日現在の出生数に妊娠届けが出た数を合わせると、全部で133人。来年2月、3月出産予定の届出はこれからですが、毎月20件は出ないという最近の状況のなか、**笠岡市においても今年度は200人を切る可能性も出てきております。**

このような状況のなかでも、笠岡市にお住まいの皆様、お仕事や学校教育などを通じて笠岡市に関わってくださる皆様にとって、住みよいまち、通いやすいまち笠岡になるように市民の皆様からいただいたご意見を執行部の皆様にお届けしたいと準備をいたしました。

【新型コロナウイルス感染症の影響を受けている地域経済について】

○ **岡山県時短要請協力金の対象から外れている飲食店は市内に何店舗あるのか**

産業部長より

岡山県備中保健所井笠支所の情報にもとづき、市内の飲食店について5月18日、19日の2日間、職員延べ40人体制で市内の店舗を見回したが、実際は不在であったり、営業実態の把握が困難であったりする店舗もあり、残念ながら岡山県時短要請協力金の対象から外れている市内の飲食店の正確な店舗数は把握できていない。

○ **県時短要請協力金の対象外ではあるが、大きな損失を受けている飲食店に対し、何らかの補助を市独自で行うことはできるか。**

産業部長より

緊急事態宣言下のなか、岡山県時短要請協力金の対象外である営業時間が20時までの飲食店に品物を納入している酒店や鮮魚店、精肉店、青果店などをはじめとした関連事

業者も売上げが激減し、不況に陥っているという声はお聞きしている。

財源の確保を視野に入れながら、厳しい状況にある事業者に対しての独自の支援策を検討していきたい。

笠岡市では、**笠岡市飲食店等一時支援金**の申請を受け付けています。

対象

市内に主たる事業所を有する小規模事業者、個人事業者

申請受付期間

令和3年8月5日(木)～令和4年1月31日(月)

詳細は笠岡市ホームページでご確認ください。

笠岡市飲食店等一時支援金

検索



○ **生理の貧困が社会問題となっているが、笠岡市においても、災害時に備蓄している生理用品やおむつなどを、困窮家庭に配布することはできるか。**

生理の貧困とは

経済的な理由で生理用品を購入できない女性や女の子がいるという状況。

市民生活部長より

生理用品等の配布については、多くの市民や企業にもご寄附をお願いしたり、補助事業を活用し購入するなどして、生活に困窮する子育て世帯などにお届けしていきたい。

○ **メーカー主要3社に調査をした結果、生理用品等の期限というものはないが目安は3年であり、それを過ぎたものは状態を見ながら使い切ってほしいということだった。期限が切れたものは順次早めに入れ替え、そこで出たものを各種団体などに提供することはできるか？**

危機管理部長より

現在、市が備蓄しているものは3年という目安を全てのが越え、5年から10年経過している。今後は生理用品などについても内部で使用期限の目安を設け、それに達したものは無駄にならないように社会福祉協議会等に持ち込み、困っている方々にお使いしていただきたいと考えている。

笠岡市では、大雨・洪水災害・津波災害・土砂災害などの情報を盛り込んだ「笠岡市総合ハザードマップ」を作成、配布しています。

このデータは市のホームページで閲覧、ダウンロードも可能です。

(危機管理課 69-2222)



9月議会

【特別支援教育対象である児童生徒に対する進路指導について】

○特別支援教育対象である児童生徒に対する進路指導はどのように行われているのか。

教育長より

一人一人の障害の状態及び発達の段階・特性等を十分に把握した上で、本人の希望を踏まえた進路選択のため、担任は、特別支援教育コーディネーターや進路指導担当者と連携をしながら生徒や保護者へ高等学校や特別支援学校に関する情報を提供している。希望する学校等へは積極的に見学や体験に参加をするよう促し、卒業後のイメージを本人や保護者と共有、そのために必要があれば医療や福祉等の医療機関とつなげ連携を図っている。

教育委員会は特別な支援を必要とする生徒については、中学1年生段階から一人一人の教育的ニーズに応じた進路指導が計画的・継続的に行われるよう、各中学校へ指導している。

また、ハンディキャップを持った子供たちが高校を卒業して地元の笠岡で就労するための支援に関しても、市長部局と連携を図りキャリア教育につなげている。

○新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、通常でも少ない支援対象の児童生徒に対する進学情報や体験の場が、さらに少なくなっている。このようななか、赤磐市内では自立支援協議会・赤磐市・実行委員会の連携のなかで、岡山県教育庁特別支援教育課をはじめ、近隣公立校、私立校、通信高校、高等支援学校、自立支援協議会などの紹介をする情報交流学習会がインターネット配信という形で行われた。笠岡市教育委員会においても、こんな時代だからこそ、特別支援教育に特化した進路学習会などを本人や保護者を対象に開催していただきたい。

教育長より

そのような事例を研究し、できることを考えてみたい。

【離島留学について】

○飛鳥学園との連携で離島留学を行うことに対する地元の反応は？



離島留学とは

離島の小・中学校、高等学校が学校存続と地域振興を目的として里親や宿泊施設を整備し、島外からの児童や生徒を受け入れる制度。笠岡市教育委員会では、全国の不登校の小中学生を対象にした「離島留学制度」導入に向けた検討を始めている。

教育部長より

長期欠席や不登校の問題は大きな教育課題の一つ。長年、

教育相談室や特定非営利活動法人エブリィハートとの連携、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど外部人材の活用等で課題解決を図ってきた。

さらに飛鳥学園“育海(はぐくみ)”と連携することができれば、課題解決のための新たな選択肢となり、よりきめ細やかに子どもたちに寄り添うことができるものと考えている。この構想の素案を発表前に、まず近隣島しょ部の各種団体の代表の方へ説明に行った。あくまでも素案の段階だが、地域の方々の捉え方も様々だった。今後、関係地区の住民や団体役員などから成る協議会を立ち上げ、その実現に向けて丁寧な説明と協議を行い、取り組んでいきたい。

○飛鳥学園を指導要録上の出席扱いができる施設にすることは可能かを尋ねる。

教育長より

笠岡市教育委員会では不登校児童・生徒の民間施設などにおける活動の出席扱いに関するガイドラインを作成している。フリースクールである飛鳥学園は学校教育法が定める学校には当たらないが、この一定の要件を満たしている場合には教育委員会の判断の下、児童・生徒が在籍をしている学校において指導要録上の出席扱いは可能と考えている。

真鍋の視点

貧困や発達のかたより、いじめ等、個人や家庭だけでは解決できない問題に取り組むためにも、公立校教育の充実や、公のフリースクール開設、地域と連携した公教育などの必要性を長年訴えているなかで社会が少しずつ良い方向に動いてきている実感がある。

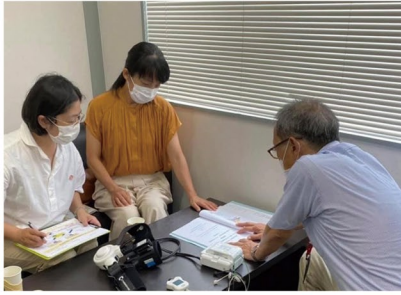
なかでもGIGAスクール構想により1人1台タブレット環境が日本全国で一律に整備されたことは、子どもの学びの保障という視点においては非常に大きい。この環境をしっかりと活用することができるように設備投資をすることは、自治体の責務である。子どもたちが多様な環境の中で学ぶことができるように、笠岡市教育委員会は尽力して欲しい。

子どものいじめ・不登校・暴力行為が増加するなか、新しい公教育の形をしっかりと模索し、笠岡市の公教育に実装していただきたい。

たとえば今後は大きな組織、大きな施設に頼らざるをえない公教育から、規模は様々であったとしても多様な組織、多様な施設がしっかりと連携を取り、それを市の教育委員会が支えることで機能する公教育というものがあってもいいのではないか。



政務活動紹介



大塚愛岡山県議会議員とともに 岡山ロボケアセンターを訪問 (2021.7.3)

岡山ロボケアセンターでは、医療・介護、作業支援、健康増進のためロボットスーツ HALの販売・レンタルを行われています。会社説明をお聞きしたり、実際にHALの装着体験をしたり、HALを利用したのリハビリ（お子さんと成人男性）を見学させていただきました。

「リハビリ難民が多いんです。治療をすれば改善する可能性があるのに、あきらめている人、あきらめざるをえない人も多い。」というお話は、私自身のこれまでの体験からも、そして様々にお聞きしているお話からも本当にその通りです。必要な方々が必要な治療に出会って欲しい、そして実際にその治療を受けることができる社会に早くなって欲しい、との想いがいっそう強くなりました。

岡山市最先端介護機器貸与モデル事業 視察のため 岡山市 医療政策推進課 医療福祉戦略室を訪問 (2021.7.13)

鬼木のぞみ岡山市議会議員が同行していただきました。
岡山市は平成25年2月に「岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区」の指定を受けています。
コンセプトは「高齢者が、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会の構築」。現在、介護保険の貸与対象は13品目に限定されており、新たな種目の拡充については、十分なエビデンスをもとにした協議が必要であるため容易ではありません。

岡山市では総合特区特別区域法の規定にもとづく特例通知により、地域支援事業として、市内で「在宅で」生活する高齢者（要支援・要介護）に、介護保健福祉用具貸与の対象となっていない介護機器を、1割の自己負担で貸与されています。貸与機器は全国から公募、選定され、機器取扱業者からの貸与による使用実績・実態の報告により効果を検証。これらを基に、国に福祉用具の種目追加などを要望されています。財源の問題もあるため、たくさんの機器を取り扱うことは難しいので、より求められているもの、より効果が高いものを残しているとのことでした。



一人会派 グリーン 鬼木のぞみ岡山市議会議員のお部屋を訪問 (2021.7.13 岡山市議会)



岡山市議会には、一人会派の方々のためのお部屋があり、室内には机と椅子、印刷機などが設置されています。議員の机には、1人1台ずつ貸し出されているパソコンも。

そして昨年度からは、パソコンとは別にタブレットも貸し出されています。（タブレットは移動可能です。）3人以上の会派になると会合をしたり応接に使ったりなどのスペースがさらにつき、1人あたりの面積が増えるとのこと。お部屋にはお一人お一人の机と椅子以外に、来客の方に対応できる机と、椅子が4脚ありました。

笠岡市議会では会派制であることを理由に、一人会派の議員には机も椅子もありません。

ですが、これからの未来を担う若い方々が、より新しい感性を活かしながら活動ができる市議会となるためにも、会派に入っていない議員に対しても施設整備はしっかりと、公平に行なってほしいです。

【入会団体・賛同団体】

岡山県市議会議員女性の会
自治体議員政策情報センター虹とみどり
立憲主義と地方自治を守る議員の会
気候危機・自治体議員の会

【所属している委員会・審議会】

総務文教委員会
笠岡市都市計画審議会

まなべ陽子市政だより「かぶとがに通信」へのご意見・ご要望・ご提案などお聞かせください。どうぞよろしくお願いたします。

12月議会日程 (予定)

- 12月 1日 (水) 本会議 初日
- 12月 9日 (木) 本会議2日目個人質問
- 12月10日 (金) 本会議3日目個人質問
- 12月13日 (月) 本会議4日目個人質問
- 12月14日 (火) 本会議5日目 (諸案質疑ほか)
- 12月15日 (水) 総務文教委員会・協議会 ほか
- 12月16日 (木) 予算決算委員会総務文教分科会
- 12月17日 (金) 厚生産業委員会・協議会 ほか
- 12月20日 (月) 予算決算委員会厚生産業分科会
- 12月22日 (水) 予算決算委員会
- 12月23日 (木) 議会運営委員会
- 12月24日 (金) 本会議 最終日



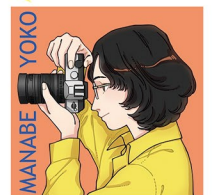
メール



ブログ



ホームページ



manabeyoko.kasaoka@gmail.com



http://blog.livedoor.jp/manabeyoko



フェイスブック

Facebook で

Instagram https://www.instagram.com/manabe_yoko_k



インスタ